

令和5年度 特集展示等 基本計画書

種別	ミニ展示	名称	「奇兵隊と明治維新」	
会期	令和5年4月1日（日） ～令和6年3月31日（日）		実開催日数	349日間（休館日、展示替え閉鎖時を除く）
開催場所	高杉晋作資料室内 特設コーナー		担当者名	（主担当）一坂太郎 （副担当）道迫真吾・平岡 崇
テーマ		奇兵隊結成160年にあたり、高杉晋作と奇兵隊との関係を新しい観点から検証することで、歴史ファンや関心層に高杉の新たな魅力を伝える。		
目標	ターゲット層	【年代】 中高年 【属性】 ・高杉晋作をはじめ維新志士への関心層 ・幕末維新期を含め歴史への関心層 【エリア】 萩市内、山口県内、近県		
実施内容	概要	高杉晋作の功績の中で特筆される奇兵隊について、武士以外の庶民も軍事力として動員し、明治維新への道筋をつけた歴史を3期に分けて様々な角度から検証する。晋作をはじめとする維新志士の愛好家を中心に、歴史にあまり関心のない人々の興味・関心も呼び覚ますべく、ギャラリートークもきめ細かく実施し、丁寧な解説にも努める。		
	①主要展示資料	・国弘氏（広島県）から寄贈予定の木戸孝允・福田侠平・片山高岳・野村望東・長太郎らの寄書き大幅（初公開） ・吉田稔麿・久坂玄瑞ら志士の書簡、絵入りロンドンニュース、瓦版等		
	②関連する取り組み等	・会場で担当学芸員がライブで解説するギャラリートーク		

種別	没後110年記念特集展示	名称	「桂太郎とその時代」	
会期	令和5年9月23日（土）～12月17日（日）		実開催日数	86日間
開催場所	人と自然の展示室内 特設コーナー		担当者名	（主担当）道迫真吾 （副担当）平岡 崇
テーマ		没後110年を迎える桂太郎に関する新資料を展示することで、首相輩出の地としての萩を全国にアピールすると共に、歴史資料の保存の重要性を啓蒙し、今後の新たな関連資料収集の呼び水とする。		
目標	ターゲット層	【年代】 中高年 【属性】 ・桂太郎をはじめ歴史上の人物への関心層 ・明治期を含め歴史への関心層		

		【エリア】 萩市内、山口県内、近県
実施内容	概要	明治後期から大正初期にかけての激動の時代、桂太郎は3度も首相に就いて日本の舵取りを担った。近年当館に寄贈された柴田家門関係文書には、桂太郎の書簡や首相時代の演説案などが含まれ、それらは新発見の歴史資料として高い評価を得ている。これらの貴重な資料を通じ、特に日露戦争の前後に桂がどのように国難に立ち向かっていたか、その一端を明らかにする。
	①主要展示資料	<ul style="list-style-type: none"> ・新発見の桂太郎が柴田家門に送った書簡（初公開） ・新発見の柴田家門起草の日露戦争の宣戦布告（初公開） ・桂太郎の陸軍大将帽、婦人可那子のボンネット等の遺品
	②関連する取り組み等	<ul style="list-style-type: none"> ・会期中に史都萩を愛する会と連携し、桂太郎研究の第一人者・小林道彦氏による講演会を開催 ・会場で担当学芸員がライブで解説するギャラリートーク

種別	地域特集展示	名称	「萩・江崎の海のいきもの」
会期	令和5年12月23日（土） ～令和6年3月10日（日）	実開催日数	63日間
開催場所	人と自然の展示室内 特設コーナー	担当者名	（主担当）堀 成夫 （副担当）川原康寛
テーマ	江崎地区（田万川地域）で見つかった特筆すべき海洋生物を通じ、市民や地域出身者が地域の魅力に気づき、萩市民としてのアイデンティティを向上させる機会をつくる。		
目標	ターゲット層	【年代】 小学生とその保護者、当該地区出身の各世代 【属性】 <ul style="list-style-type: none"> ・全国各地から萩への帰省客（特に田万川地域の出身者） ・冬休みに萩博物館で楽しみ学びたい親子 ・江崎定置網関連の夏期特別展関連行事に参加した県内外の親子 ・海洋生物に興味のある人々 【エリア】 萩市、隣接市町	
実施内容	概要	地域特集展示としては大井・須佐・三見・川上に次ぐ第5弾として、初の自然科学的な切り口で江崎地区（田万川地域）の海洋生物を特集。当地区は好漁場を抱え、定置網にジンベエザメやリュウグウノツカイなど珍魚が入網するほか、漁業者との交流や当館行事を通じて多くの情報が蓄積しているので、それらに関する魅力的な標本・映像・写真等を厳選して公開する。	
	①主要展示資料	<ul style="list-style-type: none"> ・定置網に入ったジンベエザメの映像または画像 ・漁獲されたサメ・セミホウボウ・コバンザメなどの剥製・液浸標本 ・江崎での夏期特別展関連行事や博物館調査などの活動記録 など 	

	②関連する取り組み等	・現地での標本・映像・写真などの手配、資料の入手につながる行事・調査において江崎定置網、山口県漁業協同組合江崎支店、萩市田万川総合事務所などと連携
--	------------	---

種別	開館 20 周年記念特集展示	名称	「萩博物館ができるまで①」
会期	令和 6 年 3 月 16 日（土）～6 月 30 日（日）	実開催日数	106 日間
開催場所	人と自然の展示室内 特設コーナー	担当者名	（主担当）道迫真吾 （副担当）清水満幸
テーマ	開館 20 周年を記念し、萩博物館の過去の活動と現在の取り組みなどを紹介することで、市民と共に未来の博物館像を考える機会をつくる。		
目標	ターゲット層	【年代】 博物館に関心のある全世代 【属性】 ・これまでの館活動を支えてきた市内外のコア支持層 ・これから博物館活動に参加する意欲・関心のある人々 【エリア】 萩市内外	
実施内容	概要	萩博物館は萩市郷土博物館の後継施設として、また萩開府 400 年記念事業の目玉となる「萩まちじゅう博物館構想」の中核施設として、様々な期待のもとに誕生した。市民に愛される博物館をとの思いから、建設準備の過程で多彩な行事が実施されると共に、その思いを叶えるにふさわしい建物の建設が渴望された。こうした事実を含め、当館ができるまでの写真や図面、過去～現在の活動の記録をビジュアル的に紹介する。	
	①主要展示資料	・萩博物館ができるまでの写真・図面 ・過去～現在の博物館活動の記録 など	
	②関連する取り組み等	・会場で担当学芸員がライブで解説するギャラリートーク	